まちの話題 **Town Topics**

企業見学ツアー初開催!

13 日にかけて、市内の事業所・工場を中心に巡る「企 業見学ツアー」が初開催されました。これは、就職を検 討している大学生などを対象に、市内企業の見学や地元 グルメを楽しんでもらうことで、市への興味・関心を高 め、将来、矢板市を就職先の候補地としてもらうきっか けをつくることを目的に開催されたものです。

本ツアーには県内の大学生を中心に、都内からの移住 検討者も含めた約30人が参加し、普段なかなか見ること のできない工場内などを興味深そうに見学していました。



交流の場として

ココマチ内にある「こどものひろば」で、3周年イベ ントが行われました。当日は、市内外から多くの親子連 れが訪れ、ダーツや的入れ、輪投げなどのアトラクショ ンを楽しみました。

「こどものひろば」を運営する(株)街なかにぎわい館 の代田代表は「ここは、子どもが安全に遊ぶことができ る場所としてだけでなく、子育て世代の交流の場という 大切な機能を持っている。多くの方に利用してもらい、 交流の輪を広げてもらいたい」と話していました。



2/24 私たちにできること

文化会館大ホールで「矢板市人権フェスタ」が開かれ、 平成30年度全国中学生人権作文コンテスト栃木大会で 最優秀賞を受賞した矢板中学校生徒の作品が朗読された ほか、元日本テレビアナウンサーの藪本 雅子さんが 「共に生きる社会へ~テレビ報道現場からの報告」と題し、 講演を行いました。

藪本さんは「誰もが堂々と胸を張って生きていける社 会にするために、私たちができることを考えよう」と会 場に集まった方たちに言葉を投げ掛けていました。



2/28 「花」やかな雛飾り

泉公民館で、2月26日(火)から3月3日(日)にか けて、つるし雛や雛人形などを展示した「ひなまつり」 が開催されました。会場には、泉保育所児童のかわいら しいおひなさまや公民館の自主講座生などが「花」をテー マに制作した100点を超える作品が所狭しと並びました。 この日に行われた「ひなまつりコンサート」では、エレ クトーン奏者の石下 有美さんによる華麗な演奏が披露 されたほか、泉保育所の児童や地域の方たちが一緒になっ て合唱するなど、会場は「花」やかな雰囲気に包まれました。



矢板の冬の文化祭

2月23日(土)・24日(日)、文化会館周辺で、市民 講座生の日ごろの成果を発表する場として「フェスタ in YAITA」が行われました。このイベントは、毎年開催 されていますが、今年は市制施行60周年記念事業として、 防災に関する講演会や音楽ライブなどの特別企画もあり 例年以上の盛り上がりとなりました。

このほか、カラフルパレットのやいた応援大使就任式 や実演会、各種模擬店、図書館寄席、オーケストラによ る演奏会なども行われ、会場周辺はたくさんのお客さん でにぎわいをみせました。













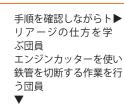




消防団・春の訓練

市内各地で、春の全国火災予防運動に伴う消防団の 訓練が行われました。矢板消防署では、本部および第2 分団の団員が大規模災害発生時に対応するための、トリ アージ(※) や応急救護法を学んだほか、小型動力ポンプ やエンジンカッター、チェンソーなどの資機材の取り扱 いを矢板消防署員の指導のもと訓練を行いました。

訓練に参加した団員からは「大規模災害など有事の際、 今日学んだことを活かし、スムーズな初動体制の確保や 救護活動に役立てたい」と頼もしい言葉がありました。





定して選別を行うことを

全国に名を轟かせ!

文化会館で、野州轟一番太鼓ジュニアが、3月末に行わ れる全国大会に向けた練習を行いました。ジュニアチームは、 昨年 11 月に行われた第 21 回日本太鼓ジュニアコンクール 栃木県予選会で、創設以来9度目の挑戦で初の優勝を収め、 全国大会の切符を手にしました。この日は、腕の振りや間の 取り方など入念な確認を行いながら練習に励んでいました。

チームの代表は「長年努力してきた成果が認められてう れしい。全国大会では太鼓を精一杯打ち込み、私たちの 名前を全国に轟かせたい」と意気込みを話してくれました。



10 2019年4月号 2019年4月号 11